

## 第 53 回福島問題研究会議事録(ダイジェスト版)

2021.1.17 伊達記

1. 開催日時 2021/1/12 14:00-16:00
2. 出席者(敬称略) 戸井田、横堀、小林、中尾、郷、橋本、松井、牛尾、山下、伊達
3. 議題：
  - (1) 第 52 回研究会議事録の確認
  - (2) 入手情報紹介・情報交換
  - (3) 研究発表
    - 1) 高空隙顆粒造粒技術の放射性核種吸着剤への応用(牛尾:2020原子力学会発表)
    - 2) 球形吸着材充填のカラム破過曲線と球形粒子内の吸着量の半径方向分布の計算(橋本)
  - (4) 討議事項
    - 1) 化学工学会福島復興研究会への対応
    - 2) 当研究会の今後の進め方

---

### (1) 第 52 回題議事録確認 承認

#### (2) 入手情報紹介・情報交換

##### 1) 東京電力・福島第一原子力発電所に関する人材育成研修(牛尾)

・JAEA 主催の、廃炉にかかわる地元企業の技術者(設計者、技術者、研究者)、大学等の研究者等を対象に、「1F 廃炉全般に関わる基礎技術」、「1F 廃炉に関わる技術者の共有が望ましい技術」の習得を目的に、昨年が続いて開催。

・開催日:2021.1.20~1.22(オンラインセミナー)

・当研究会からの受講者:牛尾、橋本、横堀(オンライン)、伊達(オンデマンド)

##### 2) 第 52 回研究会以降の関連会合情報(オンライン) (横堀)

###### ①11/19(木) GEN-IV 主催

「NEUTRINO AND GEN IV REACTOR SYSTEMS」 Jonathan Link (Virginia Tech) 講演

###### ②11/22(日) カブリ数物連携宇宙研究機構(Kavli-IPMU)

・「重力波観測の最前線」田越 秀行(ICRR 教授): 欧米の LIGO と Virgo 検出器および宇宙線研究所の KAGRA による重力波研究の最前線を紹介。

・「超大質量ブラックホールの総合的理解に向けて」シルバーマン(Kavli IPMU) ずばる望遠鏡による超大質量ブラックホールや銀河、宇宙大規模構造解明

###### ③11/23(月)オンライン施設公開(スーパーカミオカンデ、KAGRA)

###### ④11/25(水)13:30-14:30 エネ庁説明会(汚染水処分)

- ・横堀氏、橋本氏エネ庁への質問状(Drop box)提出も、現状は、エネ庁から未回答。
- ⑤11/29(日) NPO 放射線教育フォーラム勉強会
  - ・小、中、高向けの放射線教育についての勉強会
- ⑥12/08(火) ICRP-pub138,140 説明会
  - ・解説 1「Publication 138; Ethical Foundations of the System of Radiological Protection(放射線防護体系の倫理的基盤)の解説」  
栗原千絵子(量子科学技術研究開発機構/ICRP TG109 委員)
  - ・解説 2「Publication 140; Radiological Protection in Therapy with Radiopharmaceuticals(放射性医薬品治療における放射線防護)の解説」  
細野真(近大医学部/ICRP C3 委員)
- ⑦12/08(火) 原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る国際フォーラム前夜祭  
(学会会合)
- ⑧12/09(水) 革新的環境技術シンポジウム 2020(RITE)
  - ・招待講演 気候変動問題を巡る情勢について 矢作友良(METI 審議官)
  - ・ビヨンド・ゼロを実現するイノベーション 山地憲治(副理事長)
  - ・正味ゼロ排出実現に向けたエネルギーシステムの評価 秋元圭吾(システム)
  - ・排出源に則した CO2 分離回収技術の実用化展開 中尾真一(化学)
  - ・CO2 地中貯留の実用化に向けての安全管理技術開発の取り組み 薛自求
  - ・サーキュラー・バイオエコノミーの実現を目指したグリーンバイオプロセスの  
開発 乾将行
  - ・無機膜を用いたビヨンド・ゼロに向けた取り組み 中尾真一
- ⑨12/09(水) 原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る国
- ⑩12/11(金) 放射線影響協会シンポジウム(疫学調査結果)
  - ・第Ⅵ期調査の概要(新コホートの設定の考え方)三枝 新(放影協)他
- ⑪12/14(月) 福島復興・廃炉技術研究会(Drop box 議事録参照)
- ⑫12/18(金) 日本技術士会原子力・放射線部会(核融合)
  - ・鎌田 裕(量子科学技術研究開発機構)
  - ・核融合の概論(基礎と開発経緯)〈脱炭素社会に大きく貢献するエネルギー〉
- ⑬12/19(土) NPO 放射線安全フォーラム
  - ・仁井田浩二(RIST)モンテカルロシミュレーション PHITS による 新型コロナ感染  
拡大の解析
- ⑭12/22(火) 高度人材育成フォーラム(東工大)
  - ・「東京工業大学原子力エネルギー高度人材育成拠点事業の概要」小原 徹
  - ・「米国のニュークリアイノベーションブートキャンプ活動」Dr. Adrien Couet

- ・「原子力教育をより魅力的に」Prof. Michael Short (MIT)
- ・パネルディスカッション「原子力分野の若手による国際活動と海外留学」

**⑮12/22(火) 早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター**

- ・国際芸術・学術拠点構想研究会(A&S 研究会)
- ・シンポジウム「福島復興に必要な国際教育研究拠点とは何か？」
- ・講演「梅棹忠夫の構想力から福島復興と新たな国際教育研究拠点を考える：梅棹忠夫生誕 100 年記念」(小長谷有紀)

**研究会の拠点構想中間報告(Drop box 情報共有添付2参照)が当研究会の活動の参考になる。**

**⑯12/27(日) 放射線教材コンテスト(日本科学技術振興財団)**

**3)汚染水処理等に関する情報(中尾)**

- ・エネ庁 HP【エネ庁→スペシャルコンテンツ→福島】に現状がまとめられているので参考にする。
- ・廃炉作業に活用の予定がない「空白地帯:3区域、旧型タンク計42基を解体した後の活用予定がないままの跡地」が存在することが分かった。東電は活用針を決めないまま、現行計画に基づく処理水保管タンクの設置完了を宣言済み。仮に空白地帯にタンクを置いた場合、満杯になる時期は約1年先延ばしされる。(河北新報 2020.12.18 オンラインニュース)

**(4)第86年会の研究発表**

- ・以下のテーマで発表を予定で、予稿準備済み。シンポジウムのプログラム、予稿集の提出等について、松方先生、事務局(重光氏)に確認する。(横堀)
- ・テーマ名:異なる造粒方法によって製造したゼオライト顆粒のセシウムの吸着破過曲線と粒子内吸着量分布の計算(牛尾/橋本)
- ・発表内容については、前回研究会等で議論・確認済み。予稿の最後に、本研究の効果を記載する(橋本)。

**(5)福島問題研究会の今後の活動について**

- ・これまでの活動の反省点は、活動が具体的アクションまで落とし込めていない、今後を担う若手が取り込めていない、積極的な外部発信の観点が抜けていたなど。
- ・原子力関連学会、土木学会の一部を除けば、学協会連携を含めて停滞している。一方、エネルギーの観点では水素エネルギーの開発も進んでいて(千代田化工など)、これは化学工学の分野。
- ・化学工学の強みである「総合的、俯瞰的」の観点、化学プラントの安全管理、工場経営などの観点から、長谷部委員会提言(2017.10)をもとにアクションの具体化を検討することとなった。

→【次回研究会までの宿題①】横堀氏の福島復興・廃炉技術研究会(12/14)提案資料  
(Drop Box 福島原発事故対策検討委員会からの提言と今後の活動方針について)の、  
当研究会のアクション案を各自提案する。活動方針を考える上での懸念事項、感想等も  
自由記載。

→【次回研究会までの宿題②】エネ庁HPの情報(現状のレビュー)からのテーマ掘り起し  
(中尾氏提案)

\* 宿題の取り纏め:伊達

#### (6)その他

- ・次回(第54回)の開催予定 2月16日(火)14:00~16:30
- ・オンライン会議の方式を、Skype会議からZoom会議に変更する(次回:第54回より)
- ・以下の運営体制変更について、本研究会内の了解を得た。  
本年度:幹事(横堀)/世話役(伊達)→次年度~:幹事(伊達)

以上